

滋賀縣 川添清知著述
 管内 滋賀郡地理小誌
 那須理太郎校正
 全

特31

240

東

大田教育會館			
第三室			
冊	号	架	西

函
架
號

025475-000-3

特31-240

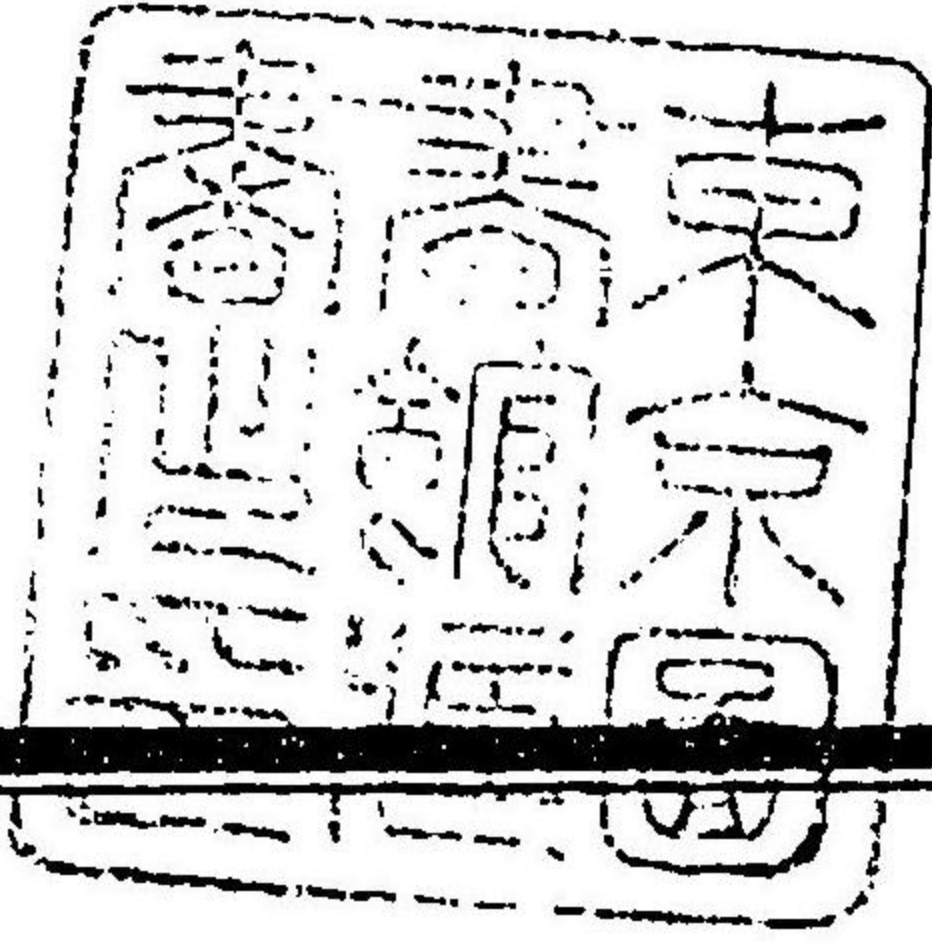
滋賀県管内滋賀郡地理小誌

川添 清知 / 著

M13

ADC-2930





滋賀



版 權 免 許

川 添 清 知 著
那 須 理 太 郎 校 正

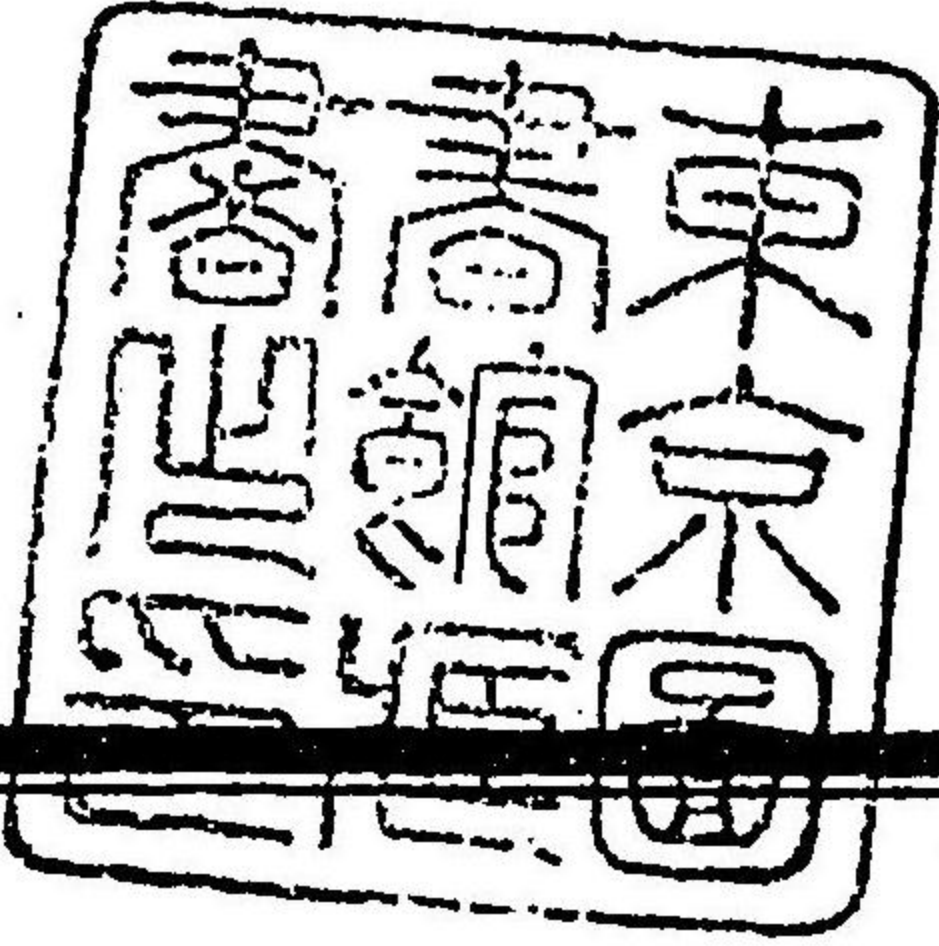
滋 賀 縣
管 內

滋 賀 郡 地 理 小 誌

明 治 十 三 年
五 月 刊 行

二 書 堂 梓

特31
240



滋賀



版 權 免 許

川 添 清 知 著

那 須 理 太 郎 校 正

滋 賀 縣

管 內

滋 賀 郡 地 理 小 誌

明 治 十 三 年
五 月 刊 行

二 書 堂 梓

地

生
器

滋賀郡長本村廣記



平塚貞三

滋賀縣內滋賀郡地理小誌

讚岐 那須理太郎 訂正

伊豫 川添 清知 編纂

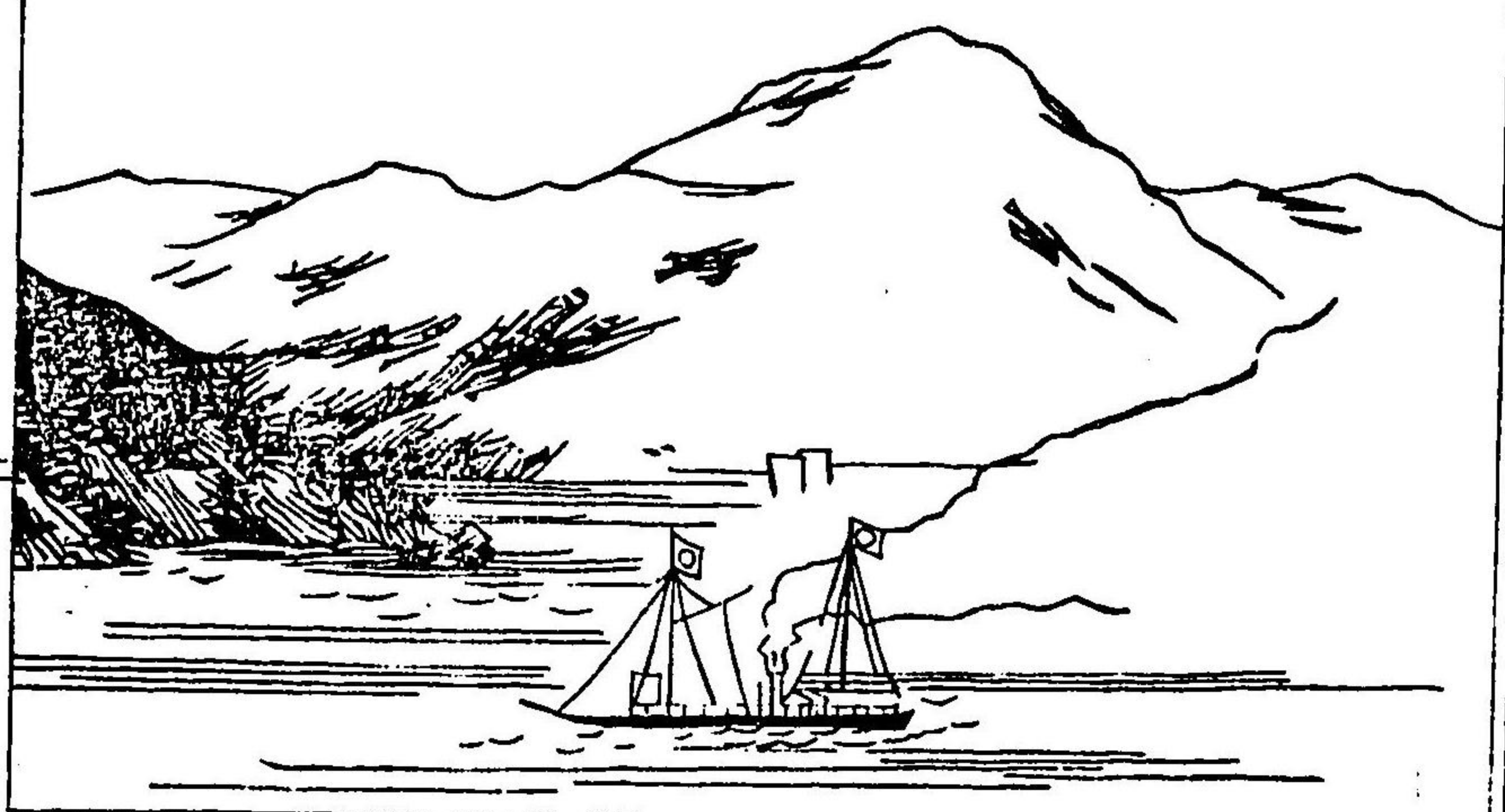
滋賀郡ハ、近江全國の西南邊に在り、北に高嶋郡
小接し、東に湖水を瀕し、岬灣出入、遙に粟太、野洲
蒲生の諸郡と相對し、東南隅ハ、瀬田川に中央を
以て、栗太郡と界し西一面に、山岳を貫いて、山城
國に隣り其地形南北に長く、東西に短し、而して
北部は漸く廣く、南方に漸く狭し、
全郡、村市の數、都て七十五村、九十一町あり、明治

滋賀縣管内

滋賀郡地理小誌

五年、之れを十六區に、分割せしが、郡役所設置以來、區と稱せられて、仮に組といふ、其反別壹万九千三百三十三町壹段餘、戸數一萬三千四百六十、余人口六万零八百四十餘あり、郡内神社此總數、二百六十五坐、寺院の總數四百九十五寺、現今設立する所の、公立小學校五十五、私立中學一校あり、全郡中の、高峰を比良山とす、南北比良村北西に在り、麓より巔に至は、一里九町二十間、山中に池あり、小女池といふ

比良山ノ圖



比良山は並きく、至峻なるを比叡山とす、阪本村の西に在り、絶頂を四明嶽と稱す、山城國を跨る、麓より巔に至は一里三十五間あり、山中の巨刹を、延暦寺と稱す、阪本村に屬す、延暦七年、僧最澄詔於奉して、根本中堂を創立す、後方之きを延暦

滋賀県志 卷之五 地理 二

寺と號す、

比良山の脉、延く北を走
るものを、小松山とす、北
小松村に西に在り、山中
に瀑布あり、揚梅瀧と云
ふ、直下六丈餘、幅一丈九
尺あり、一に布カ瀧と云
ふ、下流東に赴き、湖に落
つ、瀧川これなり、
比叡山に支脈、南に連亘

揚梅瀧ノ圖



高觀音ノ圖

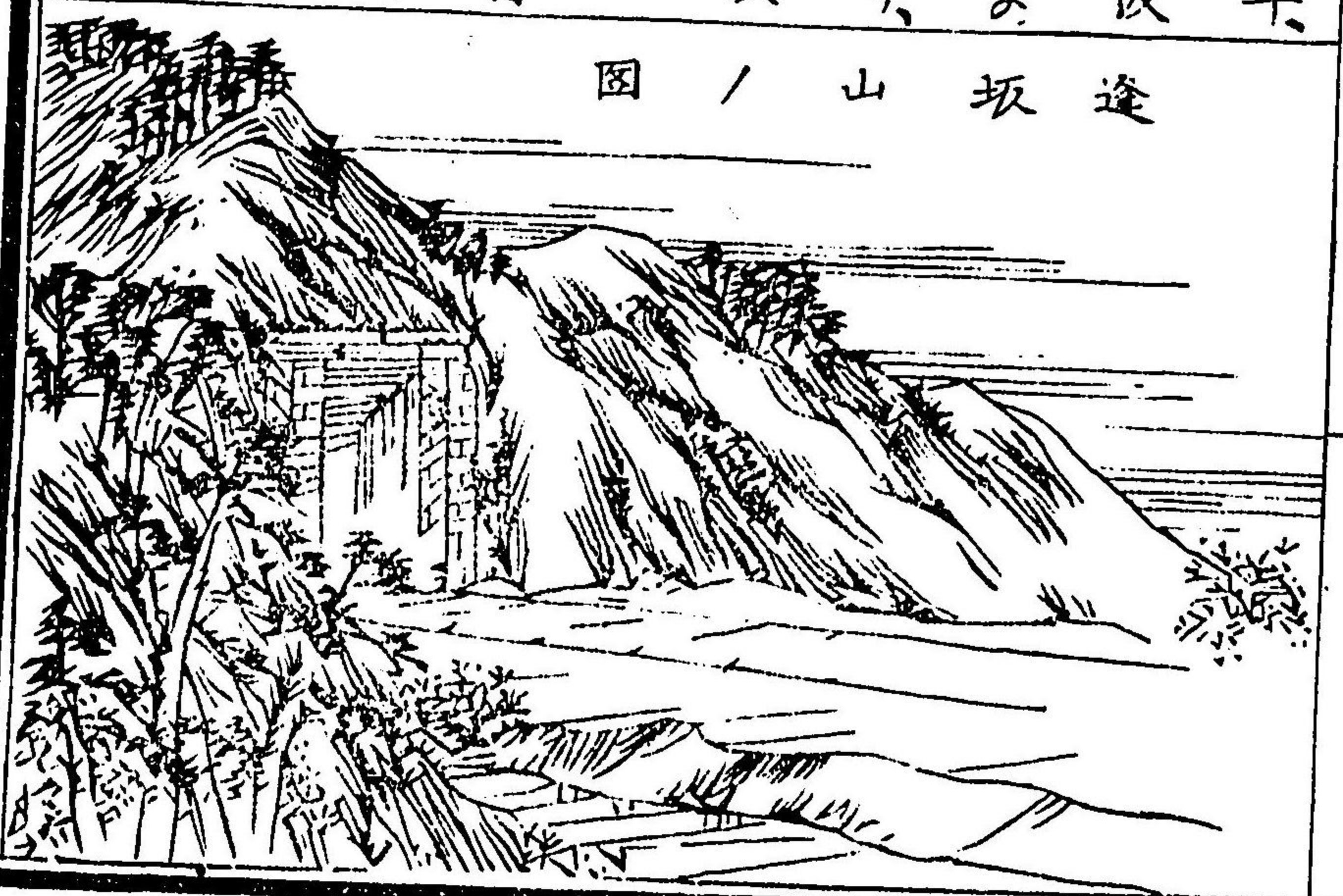


寺なるに、志賀、長等の
諸山とす、志賀山は、南滋
賀村の西南に在り、長等
山は、神出村に南にあり、
山腹に善光寺あり、土人
稱して、高觀音といふ、櫻
楓樹多く、四時遊園の地
なり、

長等山の東に、連るを逢
阪山とす、大津に南に在

桓武天皇、延暦十三年、此ノ關門を置ゝ、逢坂關即ち是れ、蟬丸社あり、概今、山下を洞通し、隧道を作、氣車の往復、便せんとす、逢坂山より東又互り、膳所北南に當り、茶臼山と、其東南に連るを石山とす、瀬田川の

逢坂山ノ圖



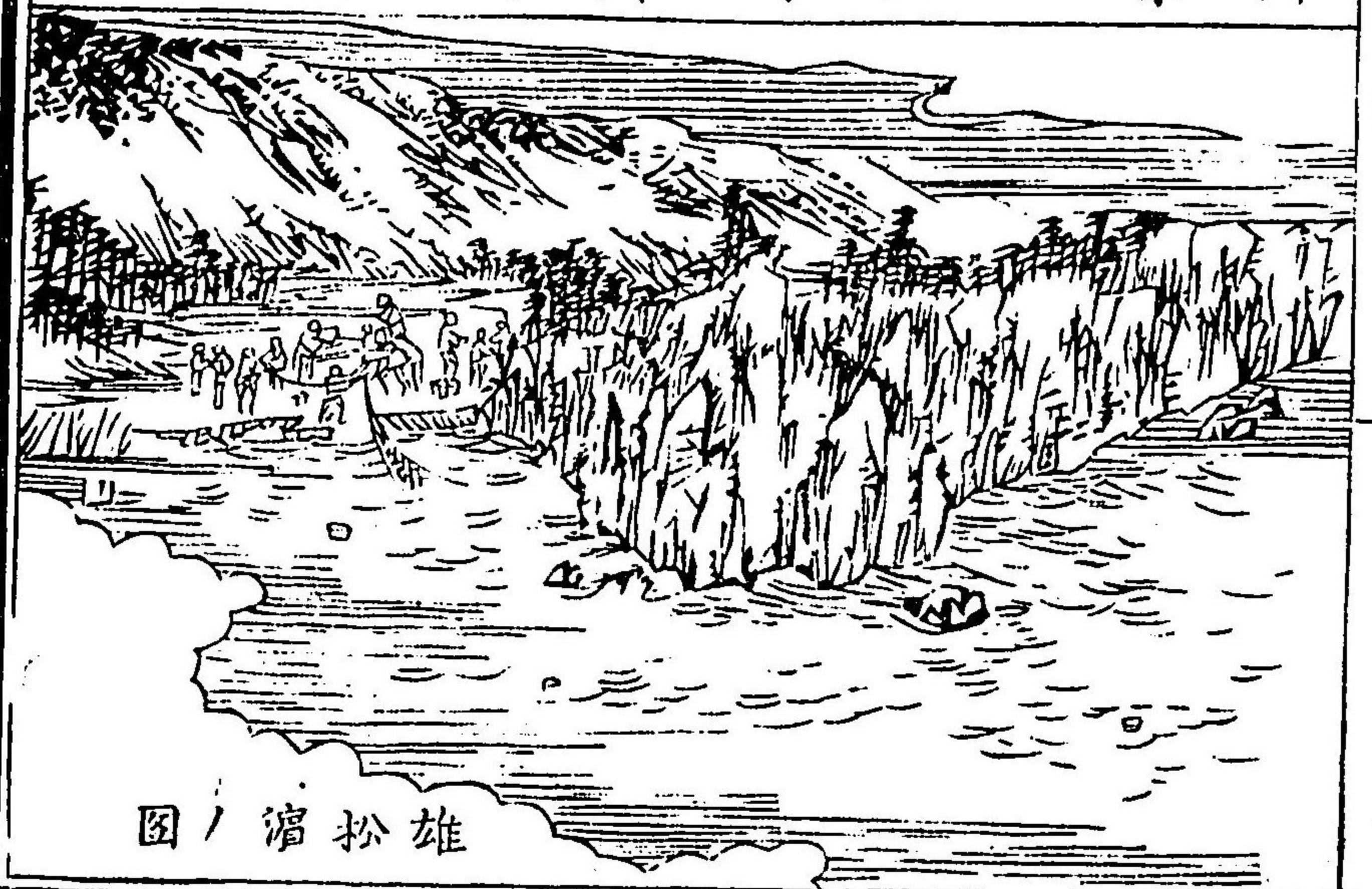
石山寺ノ圖



西岸あり、佛刹あり石山寺と稱す、寺邊村に屬す、天平勝寶元年、僧良辨の創立なり、昔日、紫式部、此寺に於て、源氏物語を著すといふ、其室、今尚存し、源氏間と稱す、満山奇石多く、前子一帯水を隔て、栗太郡の大日山と相對す、風色閑静、當國第一

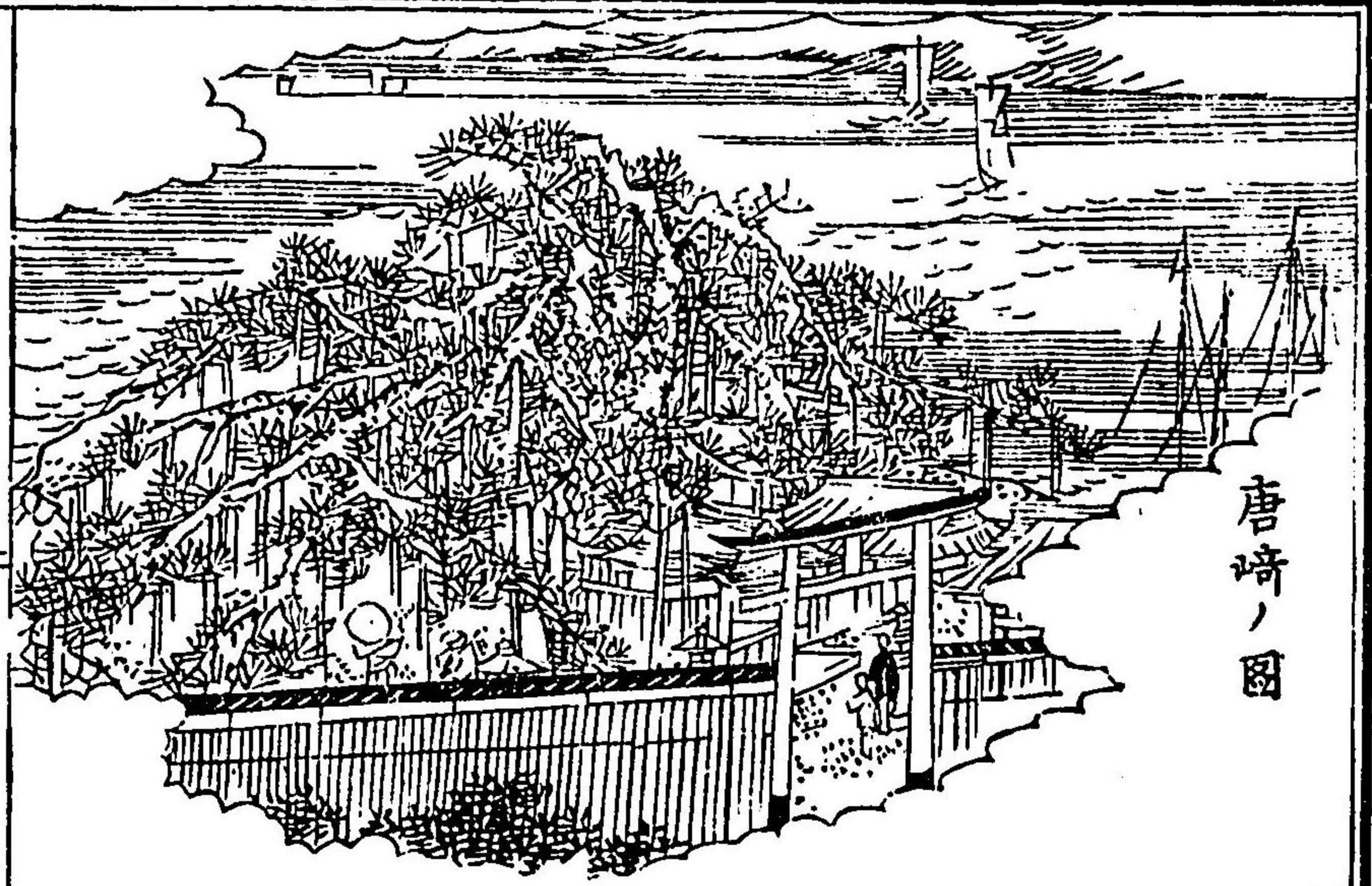
一の勝地とす、天正元年
足利義昭、此山に砦を築
くといゆ、

全郡の岬角、其最北に在
るものを、明神崎といふ、
鶴川村の東北端あり、其
南に在るを、雄松崎といふ、
南小松村に東端あり、松
樹茂生し、翠色白砂を添
む、風光絶佳なり、世に雄



雄松濱

唐崎ノ圖



松濱と稱す、
唐崎は、下阪本村の南端
に在り、一樹の老松、蔓延
し、水濱を蓋ふ、謂ふ所
辛崎は、一本松是れり、
柳崎は、錦織村の東端に
在り、近年此地に、屠牛場
を設く、

全郡の港灣は、膳所、大津、
堅田、真野、和邇、小松等あり

了、廣原を、岩神野あり、北濱村あり在り、東西三町、南
北九丁餘ありといふ、
郡中の諸水、概ね源を西方より發し、東流して湖に
朝き、其長大なるものも比良川とす、比良山より發
源し、北比良村の北より、湖に入る、
大谷川を、荒川村の西山中より發し、木戸村の北を
過き、大物村の南に至り、湖に入る、
木戸川を、比良山に溪間より出て、木戸村の南を
過きて湖に入る、
此三川も、河身廣しと雖、平時ハ砂礫よりして、暴雨

或ハ、消雪の時より、たゞれば、水流を見ず、
和邇川を、途中の山間より發し、龍華村を經り、南
濱村に至り、湖に落ち、
真野川を、北在地村の、山中より發源し、佐川、大野等
諸村に南を過き、堅田村の北より湖に注ぐ、
衣川を、比叡山の北より出て、堅田村に南を過き
て湖に入る、大宮川を、阪本村の西、溪間より
出て、下阪本村に至りて湖に落ち、際川を見
世村の西、山中より發源し、辛崎の南より湖に入る、
柳川を、錦織村に西、山間より發し、柳崎に至りて

湖に注ぎ、熊野川を三井寺山より出て、尾花川村
に至りて、湖に注ぐ、

以上を、大津迄北の諸川とす、其南部に在る者は、
吾妻川、常世川、諸子川、堂川、相模川、篠津川、兵多川、
森越川等なり、

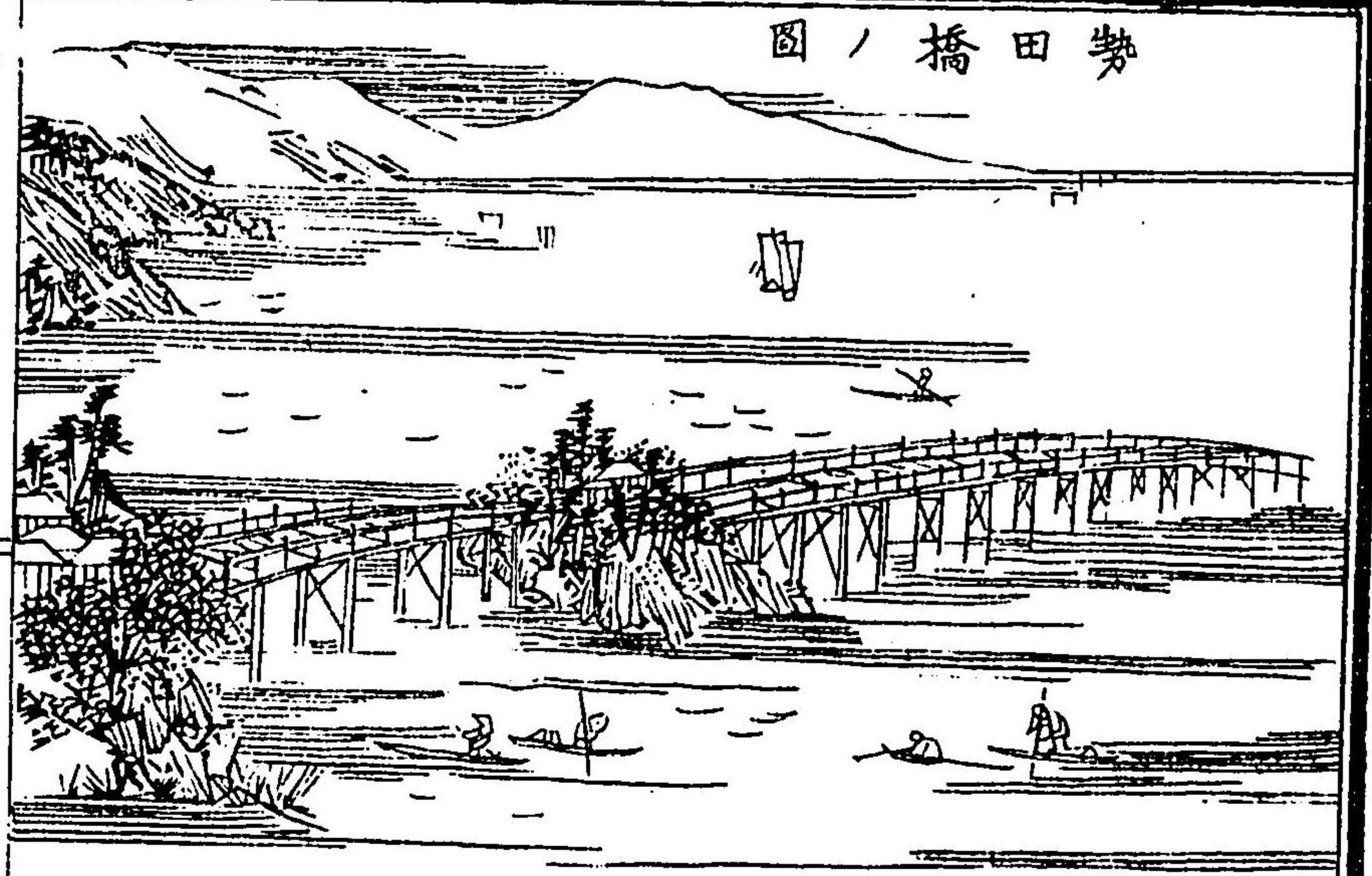
吾妻川を、逢坂山の太谷より發し、境川町を貫き、
鳴關に至りて湖に落川、常世川は、松本山よ
り出て、甚七町を貫流して、湖に注ぐ、諸子川
も、松本山の南に發源し、石場に至りて、湖に入る、
堂川は水源を、馬場村の山間に發し、北流して湖

に注ぐ、相模川は、源を粟津、錦、両村北界に發
し、北に流きて、新堀に至り湖に入る、篠津川
も、中、莊谷の篠峰より發し、東流して湖に落つ、
兵多川は、別保谷、三池、大谷等の、溪間より出て、合
し、湖に注ぐ、森越川は、別保谷に發源し、東
下して湖に入る、

全郡中、村落の、極南に在るれば、外畑村とて、畑
村學校あり、此村より、山城國二葉村に、出る山路
あり、畑越といふ、
外畑村の北に、接するを内畑村とす、此より石山

の麓に、至る際、千町、南郷、赤尾、平津の諸村あり、南郷村の南、山上に、立木観音あり、弘法大師此作る所といふ、山下に、勢田川の下流より、奇石、怪石、波上り散立き、これを鹿飛といふ、赤尾村に勵進學校あり、平津村の北に在るを、寺邊村とす、石山の東麓に、石山學校あり、此村より山城國、西笠取村に出る山路を、醍醐越といふ、寺邊村北に在るを、鳥居川村といひ、開秀學校あり、此村に接する城、北大路、國分の二村とき、即ち

勢田橋ノ圖



瀬田、橋西にあり、勢田川も、琵琶湖水の、窄き、南下する所のより、其幅、一百三十七間あり、之きは架するを、瀬田長橋と云ふ、橋下より南、山城の國境に至る、水流大約、二里三十一町あり、膳所も、瀬田の西北に在り、湖の西涯に臨む、其

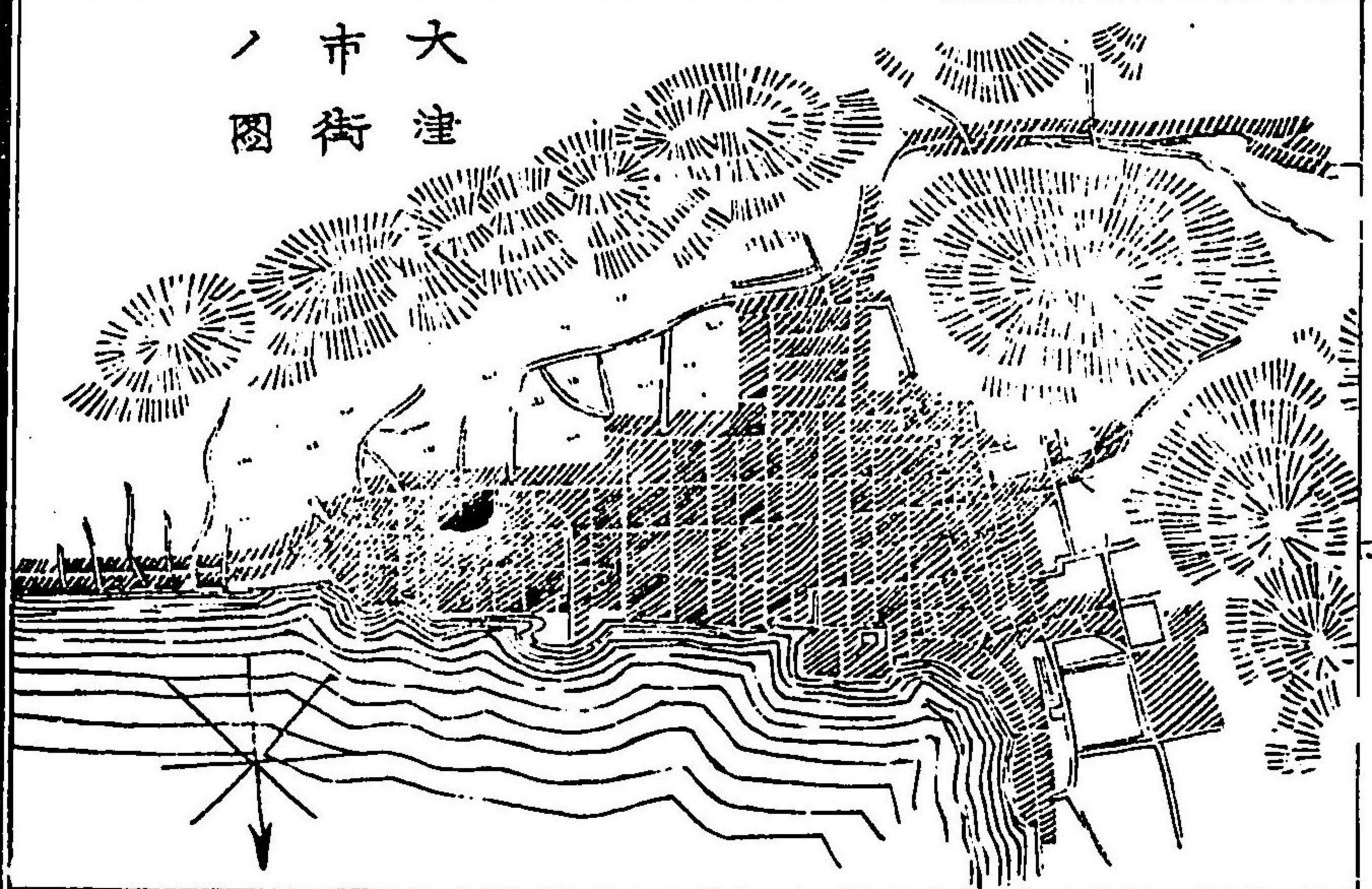
幅員東西七町二間南北二十四丁十三間あり、今之を分て、南七別保中莊を合一、粟津村と稱し、北々木下、西莊を合一、錦村と稱す、此地々慶安年中より、本多氏此城市よりて、世よいふ、膳所城なりしが、明治三年、櫓壁を毀て、今も只、其遺墟を存す

膳所旧城ノ圖



るのこ、西村此戸數合計、一千零六十、人口六千六百十餘あり、粟津村は、五等郵便局一所、南粟津、篠津、粟津の三小學校あり、此地縣廳を距ること、一里十一町二十五間一尺あり、錦村は晝錦學校あり、南粟津は耕地中は、今井兼平の墓あり、元暦元年、其主、木曾義仲と共に、此地を戦死す、錦村の西に接するを、馬場村といひ、此村は木曾義仲は、塋地あり、義仲寺と稱す、寺内は、芭蕉翁の塚あり、

大津市街圖



馬場村の西に相接する
 を、松本村とす、街市、大津
 に連る、松本民部少輔此
 城址なり、村内に松本學
 校あり、
 大津を、湖の南涯に在り、
 京極高次此城址なり、其
 幅員、東西二十五町三十
 二間、南北十二丁二十間
 あり、市街東より西北に

彎曲し、又、其中央より、逢阪山の凹所を踰え、追分
 町に至り、山城國、山科郷に接す、地形、孤鶴の翼を
 張るに似たり、故に鶴浦此稱あり、
 市街の、偏東に在る者を、肥前町とす、此より湖邊
 に沿ふて、西に連接する、甚七町、下平藏町、上平
 藏町、下堅田町、上堅田町、南保町、白玉町、阪本町、橋
 本町、湊町とす、此一帶を、通稱して、濱通と云い、下
 平藏町北湖際を、小舟入、又、打出濱といふ、
 上平藏町に、京都裁判支廳、及び、大津區裁判所
 あり、南保町に、大津師範學校、打出濱學校等あり、阪

本町は、大津警察署第六十四國立銀行、近江米商會社等あり、

湊町より北は入ると、西は連るものを、御藏町、倉橋町、西山町、川口町、中保町とも、御藏町は、滋賀縣監獄署あり、

中保町は續き、北は連るものと、北保町、觀音寺町、尾花川町あり、之きを西北極の市街とす、

湊町は西は接し、濱通は連るを、升屋町とも、電信分局あり、大津日報社あり、其西を東今嵐町といひ、此より北は入るを、水揚町といひ、西は續くを西今

嵐町とす、

西今嵐町の中央より、北は入るを今堀町とも、脩道學校あり、南は曲るを下馬場町、及び、上馬場町とも、俗は云ふ柴屋町あり、

肥前町の南は在るを、伊勢屋町とも、此より西は連るを、了徳町、高見町、材木町、獵師町、玉屋町、太間町、柳町、丸屋町とす、此一帶を通稱して、中町通といふ、玉屋町は、閑達學校あり、

丸屋町は續き、西は連るものを、菱屋町、及、石橋町といひ、是より曲折して、北は連るを、土橋町とす、

高見町より、南に曲る者を、九軒町と一、此南端より、西折る者を、和泉町とす、此より吾妻川を越へ、西より我境川町といふ、境川町より、西に連る者を、鍛冶屋町、葎屋町、後在家町、下小唐崎町、上小唐崎町、中京町、上京町とす、此一帯を通称して、京町通と云ふ、上小唐崎町より、三井銀行支店あり、上京町の西端を、俗に札辻といふ、二等郵便局、日新學校等此在る所あり、此地、縣廳を距ること、十二町十五間四尺あり、

上京町の西に連るを、石川町、及び小川町と一、石川町北東端より、南に入るを、寺内北町とす、寺院あり、近松御坊と云ふ、即ち顯證寺なり、此西に續き、南に曲るを、寺内西町といひ、南に續き、西に入るを、寺内南町と云ふ、小川町北西に連りて、北に曲るを、北を、上北國町と一、此北に續くを、中北國町、及び下北國町とす、下北國町の北に接し、東折るを、下大門町とす、滋賀新聞社此在る所なり、西折るを、上大門町とす、郡役所此在る處あり、

上大門町の西端より、南折するを、鹿關町とす、此より神出村より出る際を、俗に車地と云ふ、寺院あり、大練寺と稱す、境内に噴泉あり、練貫水と名く、昔日、志賀都の時、御衣を練り、水ありといふ、現今、湊町以西に、地下に、樋を通し、多く此水を導き、飲料に供す、

鍛冶屋町の南に、在るを四宮町とす、此西に連るを、下百石町及び上百石町とす、

上百石町北南に在るを、金塚町とす、此南に在るを、布施屋町とす、

布施屋町の南に在るを葛原町とす、此南に在るを松屋町とす、松屋町北南に在るを、下博勞町及び、上博勞町の一帶とす、

南保町の西端より、南折するを、鍋屋町とす、此南に續くを、笹屋町とす、俗に云ふ櫻町なり、此一帶は湖際を、俗に紺屋關といふ、栗太郡、矢橋、山田等へ赴く、渡口あり、

白玉町の南曲する所は續き、南に連るを、此を、夷町とす、阪本町の中央より、南に入るを、新町、及び大工町とす、

阪本町と橋本町の間に、架かるを大橋といふ、此より北折して、湖邊に至る、東岸を、風呂屋關と云ふ、西岸を、彦根他家といふ、共に俗稱なり、又、橋東を南折するを、俗に納屋町といひ、此南に連るを、八幡町及寺町とし、橋西を南に曲るを、俗に西納屋町といひ、此南に連るは、井筒町とす、橋本町北西端より、北に出る湖際を、俗に扇屋關と云ひ、南に入るを中堀町といひ、此より上京町に、出る間を、字、神八と云ふ、此地の字なり、湊町の西端より、南に曲る者を、元會所町とす、此

一帯南に、北湖濱に達するを以て、通稱して、突抜といふ、弁屋町北東端より、南に入るを鍵屋町とし、西端より南に入るを、船頭町、及び七軒町とす、船頭町より弘道學校あり、上京町辻より一街、南に連接する者を、下榮町、上榮町、關寺町、清水町、上關寺町、下片原町、上片原町とす、是より、逢坂山の麓を踰え、斷續する者を、大谷町、一里町、及び追分町とす、之を、通稱して、京街道と云ふ、

下榮町は神道教會所、公立大津病院、鶴里學校、九皋義塾等あり、下片原町は逢坂學校あり、一里町は關門學校あり、此坊外は刑死場あり、以上を大津北市街とす、此地東海、東山二道は出る、要路に當るを以て、古來有名の驛となり、西、京都を距る、三里二町十四間、東京を隔つ、一百二十八里十町三十四間あり、戸數四千六百六十餘人、一萬五千六百三十餘あり、當今、人煙は盛なること、管下第一あり、上片原町の東に當り、一小村あり、東浦といふ、東

浦學校あり、村南は丘上は、寺院あり、靈仙と稱す、寺内北町の西に連り、長等山は麓に在る地を、通稱して真町といふ、神出村の内なり、

神出村は、上北國町の西に在り、北を別所村に接す、村の北部は、新宮神社あり、南部は、菅公神祠あり、土俗、小關、天神と云ふ、此より西に方る、阪路を、小關越といふ、坂西は藤尾村あり、山城國四宮村に接す、古關學校あり、

別所村は、上大門町の西に連り、南、神出村に接す、巨剝石は、園城寺と稱す、一は三井寺といふ、僧、教

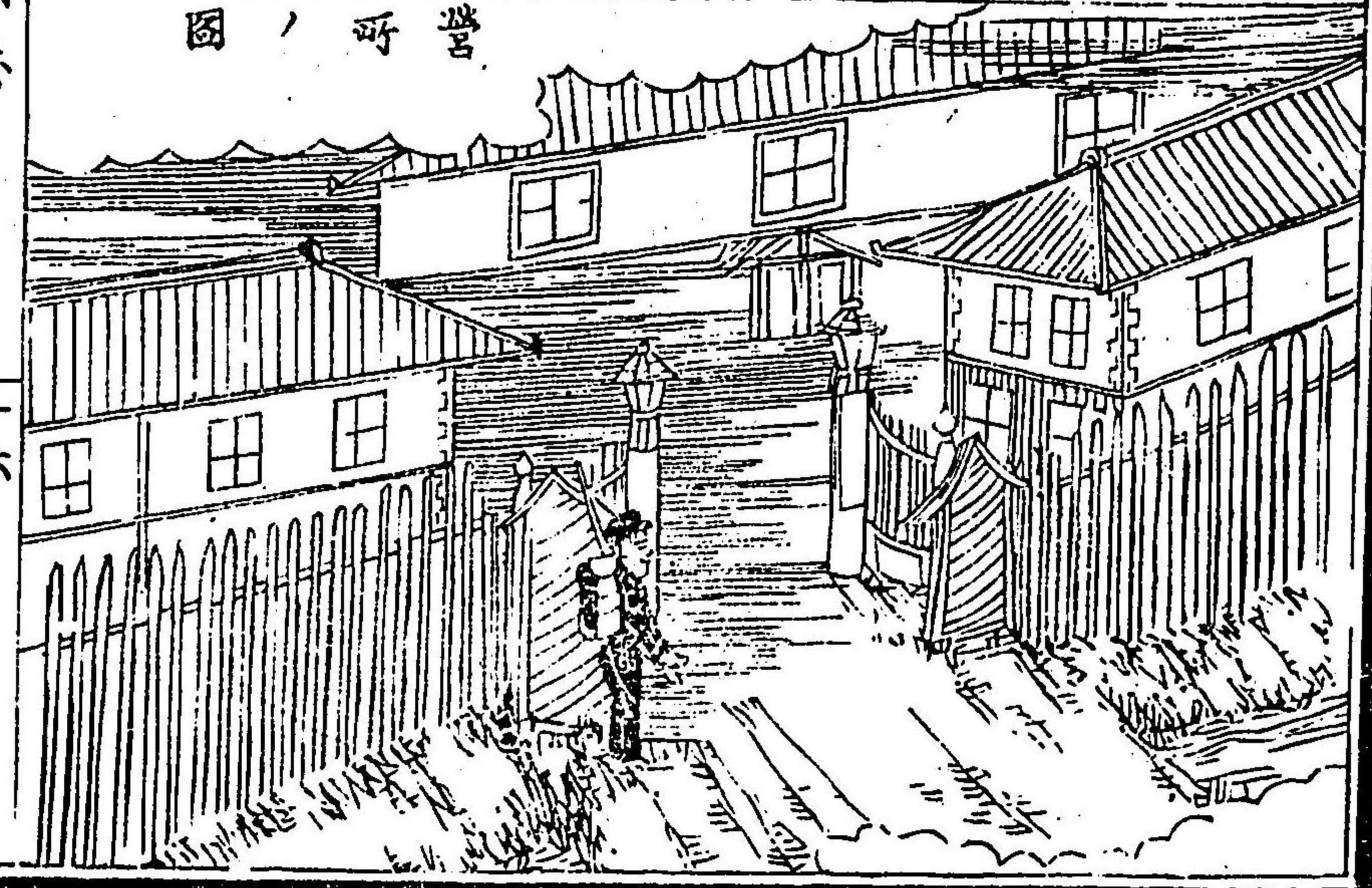
三井寺紀念碑



待比開基よりて、白鳳八年、僧圓珎の建立あり、堂塔多し、其高く現れり、東に向ふを、三井寺觀音とき、眺望絶佳なり、域内より三尾神社あり、縣廳あり、其北より鎮臺營所、及び練兵場あり、營所の北部より、弘文帝の御陵あり、三井寺北北より在るを、山

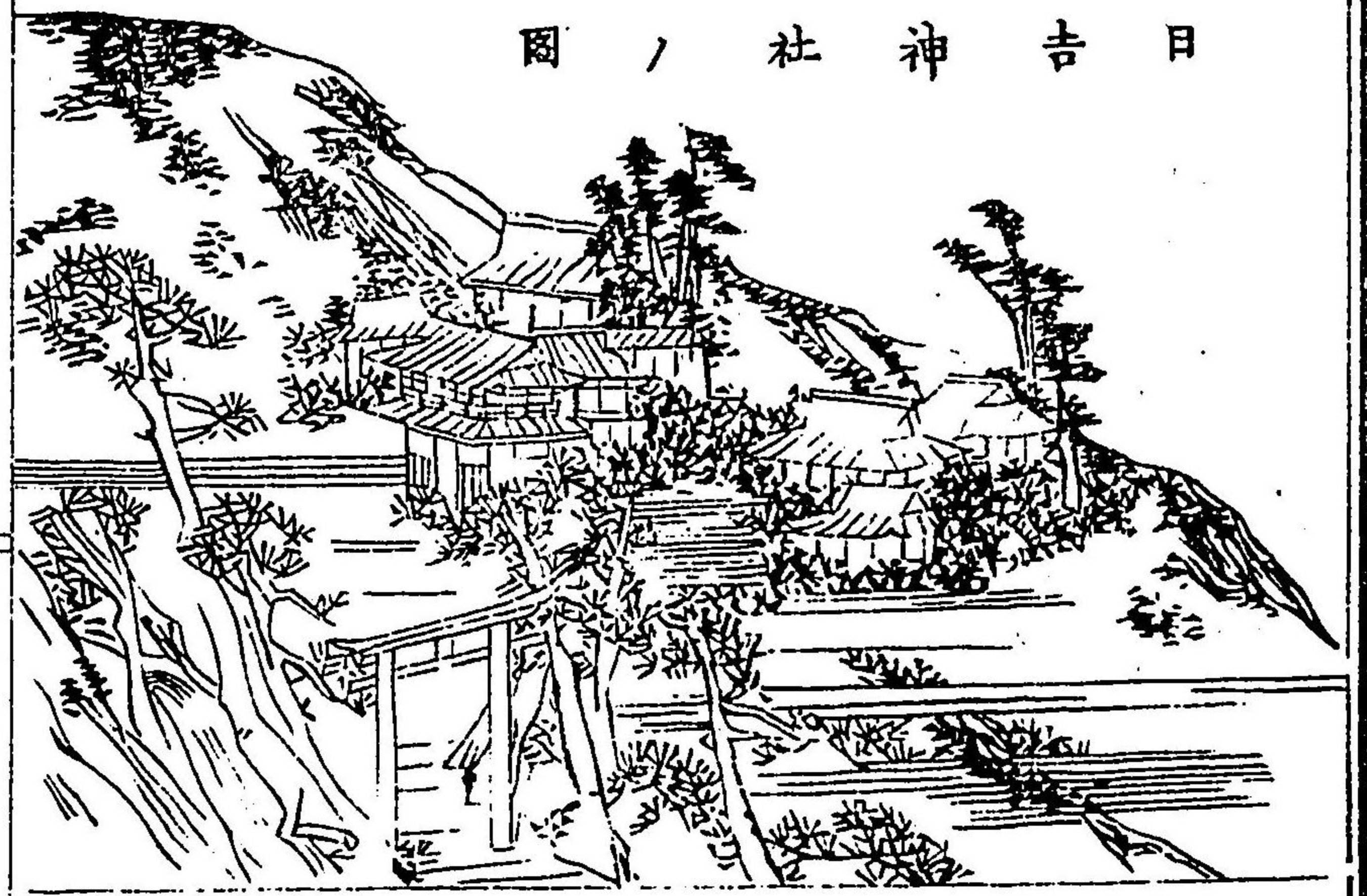
上村とき、村西北山中に、早尾神社あり、不動尊、其名高し、山上村の北に在るを、健錦織、南滋賀、見世、赤塚、及び穴太等の諸村とす、南滋賀村は、天智、弘文、天皇兩朝に、皇居なり、大津宮は都址よりて、志賀花園も、亦此地ありと云

營所



ふ、村内に花園學校あり、大友黒主祠あり、
 穴太村より景行、成務、仲哀天皇、三朝の皇居なりし、
 高穴太宮の、都址なり、穴穂學校あり、此村より山
 城國、一乗寺村へ出る山路を、青山越、又、白取越と
 云ふ、天文十九年、將軍義晴、病て此山中に薨せ、
 見世村に西、山間に山中村あり、山中學校あり、此
 より山城國、白川村より出る山路を、山中越、又、志賀
 山越といふ、
 穴太村の東北に在るを、下阪本村とき、鎌學校あり、
 村内に舊寺を、來迎寺と稱す、森可成の墓あり、

日吉神社ノ圖



元龜元年、淺井、朝倉等の、
 兵を拒て、之れに死せ、
 下阪本村に西に在るを、
 阪本村とき、叡山に東麓
 あり、神社、佛閣多し、日吉
 神社を、官幣大社に列せ、
 天智天皇、七年に造營な
 り、其他、宇佐宮、牛尾宮、客
 人宮、樹下宮、三宮、二宮等
 あり、これを、日吉七社と

稱、明治九年二宮を以て、郷社に加へり、
 西教寺を、推古天皇二十六年、聖德太子に、建立せ
 り、元龜年間、明智光秀、此地に城を、其後光秀、誅せ
 り、及ひて、弟光春、安土城を燔き、湖上を騎
 渡し、城中に入じ、妻子を殺して、自刃すと云ふ、村
 内に、篤明、至明、比二小學校、及び五等郵便局あり、
 大津を距り、一里三十四町四十七間四尺あり、
 下阪本村より北、比叡辻、苗鹿、雄琴、衣川、真野、小野、
 榎、中濱、北濱、南舟路、八屋戸、木戸、荒川、大物、南比良、
 北比良、南小松、北小松等北諸村を經り、高嶋郡に

通多きを、西近江路といふ、其里程、大津より衣川
 に至り、三里十七町四十六間、衣川より北濱に至
 り、一里十八町十八間、北濱より木戸に至り、一里
 十七町三十五間、木戸より北小松に至り、二里六
 丁二十七間、北小松より高島郡、河原市に至り、三
 里二十一町餘あり、
 比叡辻村に日枝學校あり、雄琴村に和田秀純北
 城趾、及び調岳學校あり、衣川村に山田宗綱の城
 址あり、真野村に真野十右衛門北城址、及び榛原
 學校あり、小野村に小野神社、及び小笠學校あり、

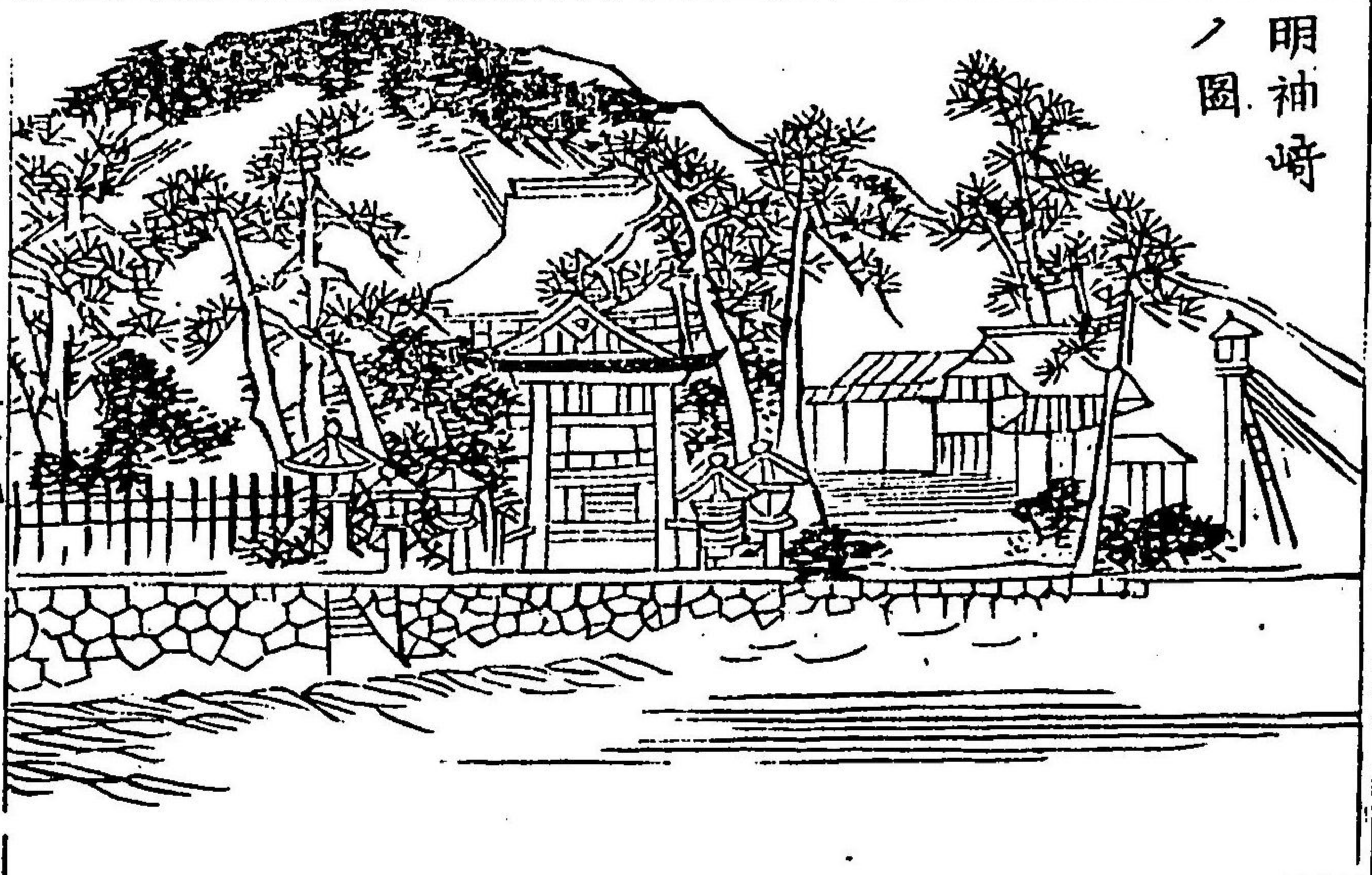
榎村に令徳學校あり、此地縣廳を距る、四里三十
一町四十二間あり、

榎村の東に在るを、南濱村と云、北に中濱村に接
き、往時々、北濱村を連ね、和邇と稱せし、一村なり
一か、近年分て三村と云、其地、湖中に突出するを
以て、舟人呼ぶ、和邇崎といふ、

北濱村に成章學校あり、南舟路村に達識學校あり、
木戸村に木戸十乗坊、田子良久等此居城址、及
び五等郵便局、木戸學校等あり、此地縣廳を距る
こと、六里十三丁十七間一尺あり、荒川村に荒川

學校あり、南比良村に暮
雪學校あり、北比良村に
比良學校あり、南小松村
に雄松濱學校あり、北小
松村に推松學校あり、此
地縣廳を距る、八里十九
町四十四間壹尺あり、鶴
川村に白鬚神社あり、鶴
川學校あり、白鬚神社に
垂仁天皇、二十五年此建

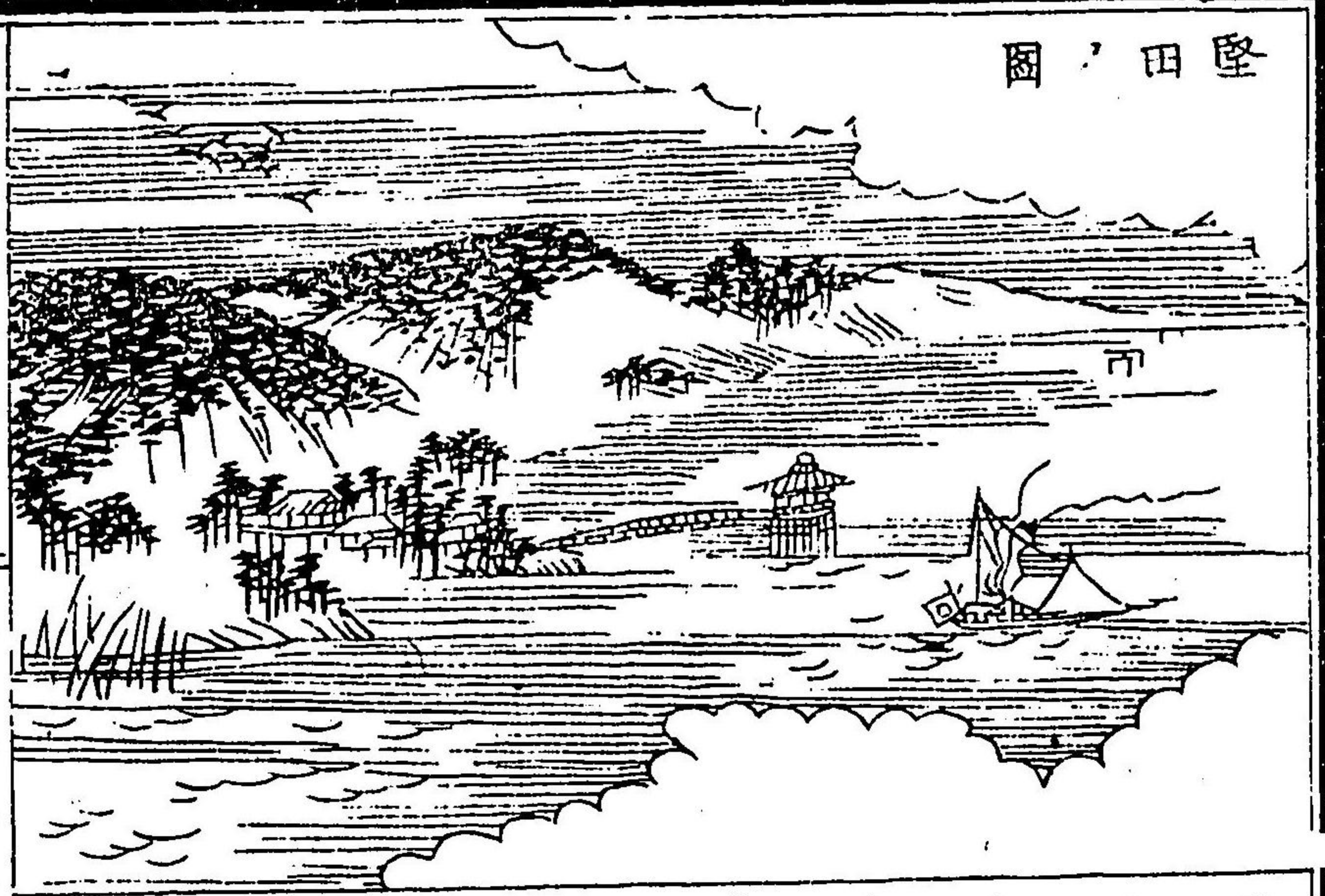
明神崎
ノ圖



營なり、明治九年、更ニ郷社ニ加へり、
雄琴村北西ニ在るを、千野、仰木の二村とシ、此北
ニ在るを南莊、生津、上在地、下在地、向在地、北在地
等北諸村とシ、上在地村ニリ、山城國大原村ニ出
る山路を、仰木越といひ、生津以下北五村を、俗ニ
伊香立といふ、

衣川村の東北、湖涯ニ、抽出きる地を、本堅田、今堅
田北二村とシ、本堅田村ニ山田忠宗北城址、及ハ
五等郵便局、順義學校等あり、戸數四百五十餘、人
口二千二百七十餘あり、大津驛を距る、四里二十

堅田圖



五間一尺なり、今堅田村
ニ、俗ニ出來島といふ、村
内ニ致道學校あり、勾當
内侍北塚あり、
真野村の西ニ在るを、谷
口、家田、普門、大野、佐川等
北諸村とシ、此北ニ在る
を、下龍華、上龍華及ハ、高
城、栗原北諸村とシ、
家田村ニ篤誠學校あり、

栗原村に以文學校あり、下龍華村に氷室學校あり、
 上龍華村に中原包高の城址、及氷室、古趾あり、
 仁徳天皇六十二年、此地より氷を奉ると云ふ、
 上龍華村は西北、山間に在るを途中村とき、五等
 郵便局及心篤行學校あり、此地縣廳を距ること、
 五里三十二町三間あり、是より山城國、小出村に
 出る山路を途中越、又龍華越といふ、
 途中村より比良山に背より給ふて、北より赴き、高島
 郡に連接するを坂下、木戸口、中村、坊村、町居、梅木、
 貫井、細川等此諸村とき、已上八村を總稱して、葛

川といふ、

木戸口村に葛川學校あり、坊村に五等郵便局あり、
 此地縣廳を距ること、八里二十五丁七間五尺
 あり、町居村に梅巷學校あり、細川村に蓬村學校
 あり、町居村より山城國、川合村に出る山路あり、
 榎嶺越といふ、

物産に追分町の筭盤、池川針、大津繪、尾花川村に
 燕菁、阪本村に煙管、堅田及び真野村の筵席、和邇
 村の魷魚、比良及び小松村に氷魚等を最とき、

滋賀縣管内
滋賀郡地理小誌終

明治十三年四月出版々權御願
全年五月八日版權免許

定價金九錢

愛媛縣士族滋賀縣滋賀郡西今嵐町三番地寄留

著述人 川添清知

全縣士族全縣全郡下北國町三九番地寄留

校正人 那須理太郎

滋賀縣平民滋賀郡井屋町三番地寄留

出版人 杉原鏡次郎

全縣平民全郡英町十一番地全居

全 山岡幸太郎

